

# 医療情報を交換するための規格等の実装検証 FRH13 の実施について

2014/4/1

一般社団法人保健医療福祉情報システム工業会（JAHIS）

一般社団法人日本 IHE 協会（IHE-J）

JAHIS 及び IHE-J では、厚生労働省による平成 25 年度「医療機関間で医療情報を交換するための規格等作成に関する請負業務」を受託し実施いたしました。その中で、地域医療連携に関する規格と実装ガイドを策定し、それらに基づいて実装したシステムを用いた実装検証（FRH13 プロジェクト）を行いましたので、ご報告いたします。策定しました規格や実装ガイドにつきましては、今後行政等が実施する地域医療連携に関する実証事業などで、採用される予定です。

## ■事業の背景と目的

少子高齢化や疾病構造の複雑化を背景に、我が国の医療提供体制においても、医療資源の偏在や不足が指摘されるようになってきております。その中で地域医療連携は、患者が受診する医療機関の間で当該患者の医療情報を共有することにより、より効果的で効率的な医療を提供する取組として全国で進められており、すでに 150 以上もの地域医療連携システム（日医総研調査）が稼働しています。また「世界最先端IT国家創造宣言」においても「医療情報連携ネットワークについて、データやシステム仕様の標準化、運用ルールの検討やシステム関連コストの大幅な低廉化等による費用対効果の向上を図りつつ、2018 年度までに全国への普及・展開を図る」とされております。

これまで、医療連携を行う際の仕組みの標準化の未進捗が指摘されてきましたが、このような背景から、厚生労働省により、地域内や地域間で相互に情報連携するための標準規格を策定する本事業が企画されました。

## ■策定した規格と実装ガイドについて

地域医療連携を構築する際に必要な、以下①～⑤に関する規格を「地域医療連携における情報連携基盤技術仕様」※1 として日本 IHE 協会が策定しました。

- ① 医療機関間で医療情報を標準的な形式で連携する手段（XDS.b、XDS-I.b）
- ② 医療機関毎に異なる患者識別情報（ID）の整合性を確保して管理する手段（PIX）
- ③ 緊急時や災害時などに患者の基本情報を検索する手段（PDQ）
- ④ 地域医療連携システム同士で医療情報をやり取りする手段（XCA）
- ⑤ 患者のプライバシーを確保し、医療情報の安全性を確保する手段（ATNA、CT）

これらに関する規格は、地域医療連携システムの構築のガイドとしての国際標準である IHE（Integrating the Healthcare Enterprise）の IT インフラストラクチャのテクニカルフレームワークを参照する形でまとめています。策定した規格は、医療情報標準化推進協議会（HELICS 協議会）の標準化指針として申請しており、標準化指針として認定された後は、厚生労働省の保健医療情報標準化会議での審議を経て厚生労働省標準規格となる見込みです。

### ※1: 日本 IHE 協会 「IHE-J 地域医療連携における情報連携基盤技術仕様 Ver.1.0」

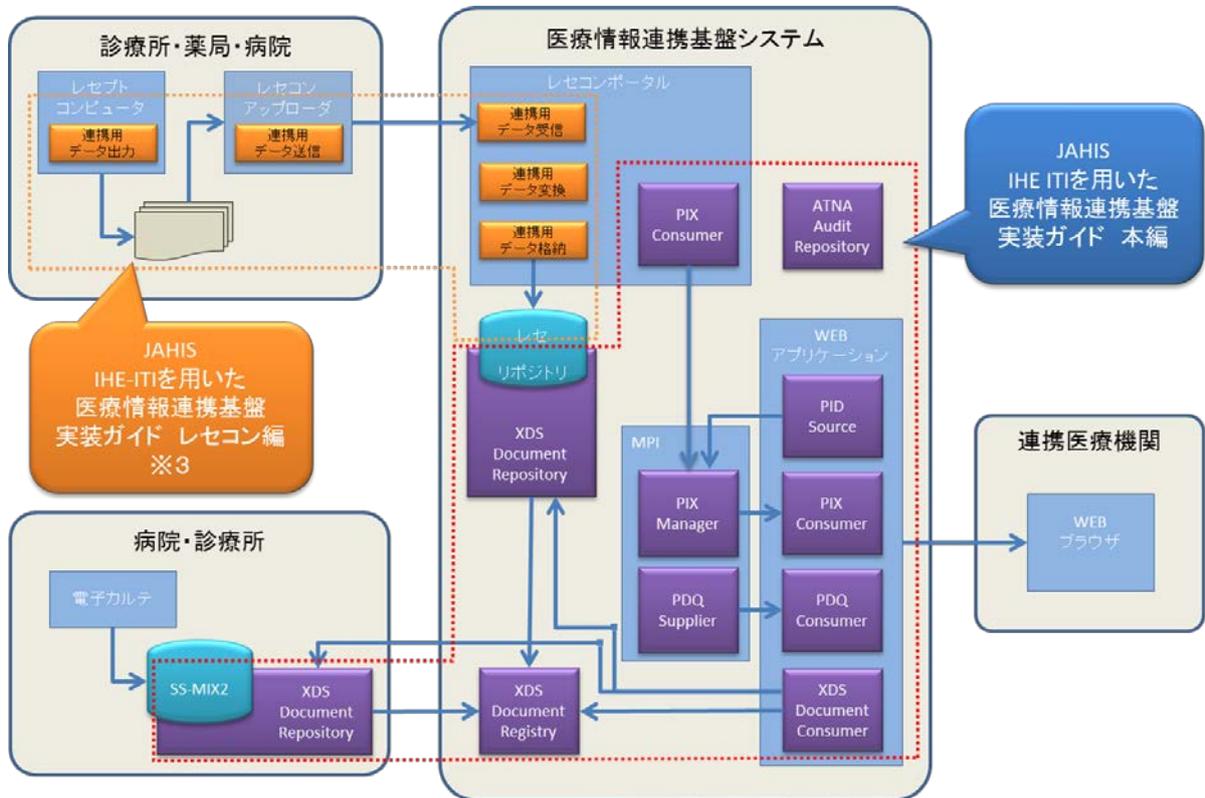
<http://www.ihe-j.org/docs/index.html>

またこの規格をベースに地域医療連携システムを構築するための実装ガイドとして、JAHIS 技術文書「IHE-ITI を用いた医療情報連携基盤実装ガイド 本編」※2 を策定いたしました。この実装ガイドは、IHE 統合プロファイルを具体的にどのように実装すれば良いかを解説しております。

### ※2: JAHIS 技術文書 「IHE-ITI を用いた医療情報連携基盤実装ガイド 本編 Ver.1.0」

<http://www.jahis.jp/jahishyojun13-104/>

実装ガイドの策定内容を次の図に示します。



※3: レセプトコンピュータからの診療情報の提供機能につきましては、厚生労働省による「医療分野における小規模機関にかかるインターフェース規格策定及び検証に関する請負業務」において策定作業が行われ、JAHIS 技術文書「IHE-ITI を用いた医療情報連携基盤実装ガイド レセコン編」として取りまとめられています。

**JAHIS 技術文書 「IHE-ITI を用いた医療情報連携基盤実装ガイド レセコン編 Ver.1.0」**

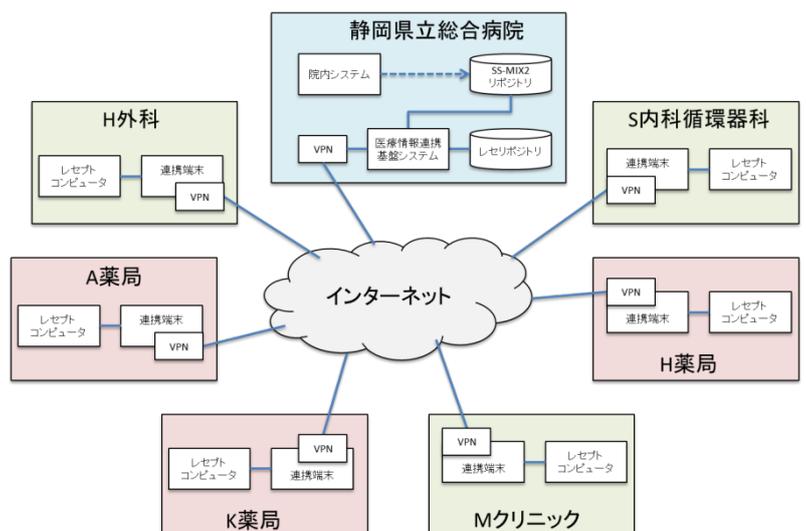
<http://www.jahis.jp/jahis13-105/>

**■実装検証 FRH13 プロジェクトについて**

これらの規格や実装ガイドが我が国の地域医療連携システムの構築に真に役立つものにするため、実際にシステムを構築し医療機関のご協力により実験的な運用を行うことで、検証することを行いました。

なお、この実装検証においては、診療所や薬局などに広く普及しているレセプトコンピュータ(レセコン)を用いて、レセコンが持つ診療情報を、地域医療連携に提供する試みを行っております。

今回の実装検証では、右図に示しますように 7 つの医療機関様のご協力をいただき、地域医療連携システムを構築いたしました。そして、本年 1 月中旬より、1 ヶ月半にわたり、ご同意をいただいた患者様の実際の診療情報を使わせていただき、システムの検証作業を実施いたしました。18 名の患者様のご協力をいただき、248 件の診療情報を連携いたしました。



**■問い合わせ先 (メール・下記 WEB サイトでお願いいたします)**

一般社団法人保健医療福祉情報システム工業会 事業企画推進室 [jigyo-kikaku@jahis.jp](mailto:jigyo-kikaku@jahis.jp)

一般社団法人日本 IHE 協会 お問合せフォーム <http://www.ihe-j.org/contact/index.html>